

2024年度 東播 U-10 リーグ運営要項

- 1 目的 リーグ戦文化の創造と、U-10世代の技術の向上を図ることを目的とする。
- 2 期間 4月～8月
- 3 主催 一般社団法人 兵庫県サッカー協会
- 4 主管 東播サッカー協会 第4種委員会
- 5 2024年度参加資格
 - 1) 日本サッカー協会第4種に加盟登録したチームで、登録選手はそのチームに所属する選手であること。
ベンチ入りする役員の内1名以上が日本サッカー協会公認コーチ資格D級以上を有すること。
 - 2) 選手は必ずスポーツ傷害保険に加入し、参加について保護者の同意を得ていること。
- 6 参加数 10チーム 参加費 12,000円/1チーム
- 7 競技規定
 - 1) ルール ①日本サッカー協会競技規則(8人制)で、2024年1月1日伝達された内容とする。
 - 2) ピッチ ①タッチライン60～80m・ゴールライン40～50mを基本とするが、タッチライン68mゴールライン50mが望ましい。ゴールのサイズは少年用(内径で高さ215cm幅500cm)とする。
 - 3) 試合人数 ①8人制とする。
 - 4) 試合球 ①日本サッカー協会公認4号ボールとする。
 - 5) 登録
 - ①選手登録人数は、8人以上とする。
 - ②追加・入替え登録は、出場しようとする節の4日前までに大会事務局に申請し承認を得た選手が次節より出場できる。クラブ間で移籍のあった選手は、登録完了後追加申請できる。
 - ③大会当日、試合開始30分前までに選手エントリー表を運営本部に提出する。
 - ④選手証(電子選手証)の確認できない選手は、ベンチ入り出来ない。
 - ⑤試合開始時に、選手8名が揃わない時は棄権とする。
 - 6) 試合
 - ①10チームによる総当たりのリーグ戦を行う。
 - ②試合時間は40分とし、ハーフタイムは7分を超えない。
 - ③リーグの順位は、以下のア)からオ)の順序で決定する。
ア)勝点 勝3点 引分1点 負0点 イ)得失点差 ウ)総得点
エ)当該チームの対戦成績 オ)抽選
なお、棄権の場合はスコア0対5の負とする。
 - 7) 審判 ①1人制を採用し、参加チームから各試合に割り当てる(補助審判1名を付ける)
 - 8) 反則退場
 - ①競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することが出来る。
 - ②試合中退場処分を受けた選手は、自動的に本リーグの次節の試合への出場を停止する。
 - ③その他不祥事により協会の名を汚した場合は、県協会規律フェアプレー委員会で処分を決定する。
 - 9) ユニフォーム
 - ①ユニフォームは、GKを含め出場選手全員が必ず色違い2セット(シャツ・パンツ・ストッキングで1セット)を用意すると共に、背番号は今大会中統一した番号を使用すること。(兵庫県4種ユニフォーム規定に準ずる)
 - ②試合当日、2組のユニフォームを用意していないチームは棄権とする。

③FP が GK をする場合は、上（シャツ）のみでよい（パンツ・ソックスは FP 用で可）

【補足】 ①ソックステープの色は問わない。

②アンダーシャツの色・デザインはチームで同色・同一のものを着用する。

③アンダーショーツおよびタイツの色・デザインはチームで同色・同一のものを着用する。

10) 熱中症対策 ①大会当日の気温状況により、前後半の各中間時に飲水タイム（1 分間）もしくは Cooling Break（3 分間）を取ることが出来る。

11) ベンチ ①ベンチには入れる人数は、エントリー選手と指導者 3 名以内とする。
また、ピッチと観覧席が分離された会場ではピッチにも適用する。
ベンチ控え選手は、ビブスを着用する。

12) 雨天時 ①雨天決行。但し、天災、警報等（開催地での気象など）で開催が危ぶまれる場合は、東播 4 種委員長が判断決定する。
②大会中、急な天候の変化による落雷等の危険性が高まったときは、直ちにその試合を停止し、平穏になってから再開（リスタート）する。当日、再開できない場合は東播 4 種委員会で協議検討し、チームに通知する。再開方法は、当日行う場合と同様のリスタートとする。

13) その他 ①この要項に無い事項が発生した場合は、「確認事項」によるものとする。
それでも解決しない場合は、東播 4 種委員会の協議によって決定する。

8 規律フェアプレー

- 1) 大会参加選手および指導者は、競技規定を遵守し、JFA サッカー行動規範に則り大会に臨むこと。
- 2) 選手・指導者は相手選手のみならず自軍選手に対してもリスペクトの精神で臨むこと。
- 3) 応援者（含む保護者）は、少年スポーツであることをわきまえ、その言動には十分注意すること。

9 表彰

- 1) 1 位～3 位にトロフィーを贈呈する。

10 疾病予防

- 1) 選手・指導者は、身体に異常を感じた場合には、参加出場することの無いようにすること。
- 2) 負傷した時の処置は、協会は一切の責任を負わないので当該チームが責任を持って処置を行うこと。

11 大会の問い合わせ（参加チーム指導者代表より実施委員長へ、問い合わせてください）